



R5 チャレンジ! グリーン活動

学校・地域環境保全コース

観音寺市立大野原小学校

5年生

大野原小学校全校生536名によるグループです。中心となって活動するのは5年生96名です。児童は元気いっぱい、笑顔いっぱい、みんな仲よく過ごしています。自分たちの町に誇りを持ち、地域の方と一緒に学校林を大切に守っていきたいと思います。

目標

わが町大野原の森林について知り、大切に守っていこう！

指標

- 地域の方と一緒に、校区内にある学校林の整備と間伐をする。
- 活動を通して、自然の尊さと森林を未来に残すことの大切さを学ぶ。

活動の様子



事前学習では、実際に林業にかかわる五郷地区在住のボランティアの方から、森林の役割や学校林の歴史についての話を聞いた。社会科の林業についての学習とつないで考える児童も多数おり、教室での学びが生かされている。

様々な道具に実際に触れたり、ヒノキとスギの苗木を見比べたりする中で、森林の尊さや林業の大切さについて再確認することができた。また、昭和28年に最初に植林を行った地域の方々の、地域を愛する思いにも気づかされた。



間伐作業は、根元に切り目を入れたヒノキを、2方向からロープで引き倒した。直径20cmほどのヒノキであるが、グループで協力して引っ張らないと倒すことができない。倒れたときの音や地響きとともに、思わず児童の大きな歓声が湧きあがった。

倒した丸太は、児童自らノコギリで輪切りにし記念に持ち帰った。また、ボランティアの方がチェーンソーで輪切りにしたのは、図工の作品づくりに利用した。

<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

輪切りにしたヒノキを利用し、各自のアイデアを取り入れた宝物づくりをする図工での活動を通して、自然を身近に感じたり、自然の大切さに気付いたりできた。また、完成した児童の作品は3月に「ふるさと学芸館」に展示し(1年間)、地域の自然や学校での活動内容を発信する。

目標の達成度

大野原小学校独自の体験活動により、森林の尊さや林業の必要性について学ぶことができた。